

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250582001050	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	【Online】・情報基礎(再履修用(夜間主)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	丹羽 量久: k-niwa ▲ nagasaki-u.ac.jp 鈴木 斉: sigh ▲ nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	丹羽 量久: ICT基盤センター2階 鈴木 斉: 経済学部6階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084 (丹羽) 095-820-6372 (鈴木)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として設定された講義・校時となる水6限の講義終了後にWeb会議システムで提供しますので、事前にメール等で教員と時間調整を行って下さい。 別の時間帯を希望される場合やメールで対応可能なものについては、担当教員宛のメールでご相談願います。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	【授業の概要】 膨大なデータや人工知能(AI)の活用による新たな価値の創造が目指される社会において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)は生活のあらゆる場面で求められている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱うスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。 授業は、講義と演習を組み合わせる。 【授業の実施方法】 以下の方法を想定しており、水曜日を授業日とみなして学事カレンダーに合わせて進めていく。変更等があれば、適宜指示する。 (1) リアルタイムのオンライン授業(Webの会議システムを使用した遠隔での授業) 第1回授業 (2) オンデマンド授業(用意された動画や(1)の記録を視聴する授業) 第2回以降の授業 講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組むレポート課題や自習課題を出す。 主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。 【授業の位置づけ】		

授業到達目標/Course goals	情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱うための、基本的な情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。 (1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる (2) 情報、情報機器、ネットワークを利用する際の倫理やセキュリティについて基本的な考え方を理解し、ネットワークを適切に利用できるようになる (3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作・活用する方法を説明できるようになる (4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集するとともに、それを分析、活用できるようになる (5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や適切なネットワーク環境への接続ができるようになる
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力/Generic Competence ■倫理観/Ethics □多様性の理解/Understanding Diversity ■主体性/Autonomy □協働性/Cooperativeness □考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心/Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70点、定期試験30点として、総合的に評価を行い、100点満点のうち60点以上を合格とする。なお、これら提出物については、最終更新日が本科目開講日より前である場合は無効として扱う。 指示された課題をすべて提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、初回を除いて、各回の授業動画すべてを、当該回の授業コンテンツの公開日を含む6日目までに、等速で9割以上視聴した場合に当該授業回に出席したとみなす。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業の事前、事後で以下に沿って学習を行うこと。 (1) 文書作成、表計算、プレゼンテーション (事前) 指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること(2時間の学習)。 (事後) 授業中に別途指示された課題に取り組むこと(2時間の学習)。 (2) 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索 (事前) 指示された教科書の内容について熟読すること(2時間の学習)。 (事後) 授業中に別途指示された課題に取り組むこと(2時間の学習)。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書:「情報リテラシーWindows11・Office2021対応」、FOM出版 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界 改訂版」、培風館、2021年 教材:必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 11及びMicrosoft Office 365 Apps for Enterprise(在学期間中、本学が無償で提供)がインストールされたノートパソコン及びACアダプタを毎回必ず使用すること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 長崎大学 必携パソコンサポートサイト https://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/pcsetup/
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業の実施方法については、「授業の概要及び位置づけ」の記載を参照すること。 LACSのURL https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/

学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。 なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 初回授業からノートパソコンを利用するので、事前に確実にセットアップを済ませておくこと。 リアルタイムのオンライン授業の回で接続が不安定な際には、大学情報環境接続説明会の資料にしたがい、相談や問題解決を図ること。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽量久 / 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 / コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】(オンライン実施(リアルタイム)) 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、必携パソコンの初期設定及びMicrosoft Office365他アプリケーションソフトウェアのセットアップ状況の確認、大学情報環境接続説明会での説明事項の確認。 注意 この初回授業のみ、Web会議システムによるリアルタイム授業を行う。10月1日(水) 6校時(17:50～19:20)を予定しているが、変更等があればLACSの連絡事項にて通知する。あらかじめ、LACSの左メニューのオンライン教室に進み、入室時の注意事項について確認・対応し、授業開始時刻までに入室すること。
第2回	【PCとLACSの活用】(オンデマンド実施) LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】(オンデマンド実施) (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、日常のセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など
第4回	【文書作成】(オンデマンド実施) Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、ページ設定、オブジェクトの操作、表の作成、印刷方法、スタイルの設定
第5回	【プレゼンテーション】(オンデマンド実施) Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成等
第6回	【情報のデジタル化】(オンデマンド実施) デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第7回	【表計算(1/5)】(オンデマンド実施) Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第8回	【表計算(2/5)】(オンデマンド実施) 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第9回	【表計算(3/5)】(オンデマンド実施) さまざまな関数の活用
第10回	【コンピュータの基礎】(オンデマンド実施) コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第11回	【表計算(4/5)】(オンデマンド実施) 複数シートの操作、データベースの操作
第12回	【表計算(5/5)】(オンデマンド実施) 高度なグラフの作成、ピボットテーブルの作成
第13回	【ネットワークの基礎】(オンデマンド実施) ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】(オンデマンド実施) WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】(オンデマンド実施) 授業の振り返り
第16回	【定期試験】(対面 または オンライン(リアルタイム)にて実施)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250586014150	科目番号 / Course code	05860141
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12121_005		
授業科目名 / Course title	●安全で安心な社会への取組 (リスク社会と社会科学) / Risk Society and Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 1 0 1 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	経済学部 片淵キャンパス東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後30分。その他時間も受け付けしますが、研究室に来室の際は事前にメール等で連絡をください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会科学の側面から社会システムの機能や役割を把握することで、リスクに向き合うための課題や指針を理解する。		
授業到達目標/Course goals	社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を得ることができる。具体的には需要、供給、市場といった経済学の基本的概念を理解するとともに、企業の様々な戦略や役割についてこれら経済学の概念を用いて理解できるようになる。また、政府による企業に対する規制や法の根拠や在り方について、自らの見識を持てるようになることを目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60%、課題レポート40%。合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：提示された授業資料に目を通しておくこと(1h) 復習：授業資料を再読し、内容をまとめること。また参考資料や練習問題を解くこと。(3h)		
キーワード/Keywords	需要、供給、市場、独占、複占・寡占、企業戦略		
教科書・教材・参考書/Materials	授業に必要な資料は別途配布する。なお特定の教科書は用いないが、必要に応じて下記の参考文献を適宜利用する。 ・ルイシュ・カブラル(2023)「企業の経済学」日本評論社 ・丸山雅祥(2016)「経営の経済学(第3版)」有斐閣		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。ただし状況によっては変更する場合があります。その際はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビなどで報道される企業に関する記事やニュースを、日々チェックするように心掛けるようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	当該授業では担当教員の政府機関において調査研究を行った経験をもとに、産業政策や競争政策の論理、国内外の情勢や現状に関しても解説を行うことで、現行制度の背景にある原理と課題を理解できるようにする。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	需要その1
第3回	需要その2
第4回	供給その1
第5回	供給その2
第6回	完全競争市場と社会厚生
第7回	市場構造・市場行動・市場成果
第8回	独占その1
第9回	独占その2
第10回	複占・寡占その1
第11回	複占・寡占その2
第12回	企業数の決定と参入障壁その1
第13回	企業数の決定と参入障壁その2
第14回	企業の競争戦略その1
第15回	企業の競争戦略その2
第16回	総括（定期試験を含む）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2025/06/09 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20250587012150	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	●経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 1 0 1 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2・3・4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部(片淵キャンパス)本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前か終了後、またはE-mailにて随時受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスにおいては、お金の流れや会社の状態を把握することが重要です。そのために不可欠な会計の知識として、この授業ではまず財務3表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)の基本的な中身について学びます。つぎに経営指標などの内容を理解したうえで、学生が任意に会社を選択し、財務諸表分析によって選択した会社の経営内容を診断します。		
授業到達目標/Course goals	DP1. 学生が自ら学び、考え、主張し、行動することができる。 DP2. 学生が分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト40点(8点×5回)+課題レポートのプレゼン60点=合計100点のうち60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<予習>テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと(2h)。 <復習>授業内容についてテキスト、小テストを含む配付資料を使って復習をすること(2h)。		
キーワード/Keywords	財務3表、経営指標、財務諸表分析(経営分析)		
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 林 總『会社の数字が面白いほどわかる「財務3表」入門』三笠書房, の「はじめに・プロローグ、第1章、第2章、第3章」を使用。ただし同書が絶版になったため、受講生は第1回目の授業開始前までに教員のメールアドレスへ、件名に所属学部・番号・氏名を明記し、「b5 経営情報と会計情報の教科書」と書いたメールを送信し、教員からの返信メールに添付された該当箇所のファイル入手するようにしてください。その際LACSは利用しないこと。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特にありませんが、会社の経営に興味のある学生向きの内容です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 なお財務3表は、有価証券報告書等の開示種類に関する電子開示システム（EDINET：https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/）で入手することができます。使い方はトップページの「種類検索」をクリックし、次画面の「提出者／発行者／ファンド」の欄に会社名を入力し、「検索」をクリックします。 また任意の会社のHPを選択し、「株主のみなさんへ」とか「IR資料室」などのバナーをクリックしても参照することができます。	
学生へのメッセージ/Message for students	実際の会社のデータを用いたレポート作成を課しますから、上記のEDINETや会社のHPを利用してあらかじめ現実の財務3表に触れておくことが望ましいでしょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1回(6/12)	授業ガイダンス	F
2回（6/12）	会計の基本－売上高、費用、利益、現金の流れの学習－	A
3-4回（6/19）	財務3表－損益計算書入門－ 第1回小テスト	A C
5-6回（6/26）	財務3表－貸借対照表入門－ 第2回小テスト	A C
7-8回（7/3）	財務3表－貸借対照表入門、キャッシュ・フロー計算書入門 第3回小テスト	A C
9-10回（7/10）	会計不正－利益操作について－ 経営指標についての学習－総資産利益率、自己資本利益率－	A
11-12回（7/17）	経営指標についての学習－自己資本比率、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、売上高増加率－ 第4回小テスト	A C
13-14回（7/24）	ヤマダ電機の分析例、課題レポートの説明 第5回小テスト	A C
15回（7/31）	課題レポートのプレゼンと提出	A D

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250590000150	科目番号 / Course code	05900001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】・データサイエンス概論(再履修) / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姜 佳明, 植木 優夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姜 佳明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姜 佳明		
科目分類 / Course Category	情報・データサイエンス科目, 数理・データサイエンス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1st-4th grades		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jiaming@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館 教員室408 Lecturer Room 408, Dept.Engineering Bld.#1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2708		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Make an appointment before coming.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	With the accelerating globalization of society and changes in the industrial structure, it has become necessary to cultivate human resources who can solve various social problems, discover new issues, and create new values from data in university education, regardless of their majors. In this course, students will learn the literacy of data science for analyzing data in various fields.		
授業到達目標/Course goals	In order to understand why we study data science and how it is used in society, we need to be able to appropriately read and understand actual data and actual issues in society and make judgments. Therefore, we will learn the basic items of data science for processing, aggregating, visualizing, and analyzing data, and acquire the ability to appropriately grasp, analyze, and explain events in society.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	A total score of 60% or higher for all small tests will be considered passing.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	Adequate review is assumed. (2 hours)		
キーワード/Keywords	Data Science		
教科書・教材・参考書/Materials	Materials will be available on LACS each time. Text book: "How to Walk in Data Science, 2nd edition" (Shiga University Faculty of Data Science & Nagasaki University School of Information and Data Sciences), Gakujutsu Toshokan		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	If you have any questions, please feel free to ask.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	An overview of data science: the role of data science, applications and utilization techniques of data science and AI, data science and AI in society
2	Basics of data analysis: how to acquire and manage data, histograms, box plots, means and variances
3	Basics of data analysis: scatter plots, correlation coefficients, regression lines, and points to note in data analysis
4	Data science methods: cross tabulation, regression analysis, Bayesian inference, association analysis
5	Data science methods and computer-based analysis: clustering, decision trees, neural networks, machine learning and AI, data analysis using Excel
6	Computer-aided analysis: data analysis using R and Python
7	Applications of data science: marketing, finance, quality control, image processing,
8	Reflections on the class

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250590000150	科目番号 / Course code	05900001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】●データサイエンス概論(再履修) / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姜 佳明, 植木 優夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姜 佳明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姜 佳明		
科目分類 / Course Category	情報・データサイエンス科目, 数理・データサイエンス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1~4年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jiaming@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館 教員室408 Lecturer Room 408, Dept.Engineering Bld.#1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2708		
担当教員オフィスアワー/Office hours	必ず事前にメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっています。この授業では、様々な分野のデータを分析するためのデータサイエンスのリテラシーを学習します。		
授業到達目標/Course goals	なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのか、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、判断できることが必要であるため、データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスのリテラシーを学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	全小テストの合計(100点満点)が60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	十分な予習復習を前提とします。(各2h)		
キーワード/Keywords	データサイエンス		
教科書・教材・参考書/Materials	毎回教材がLACSで公開されます。 教科書：『データサイエンスの歩き方 第2版』 学術図書出版社 滋賀大学データサイエンス学部・長崎大学情報データ科学部 共編(2025年3月末発売予定)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業はオンライン（オンデマンド形式）で実施します。授業の詳細はLACSから確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データサイエンスの概要を紹介します。データサイエンスの役割、データサイエンスとAIの応用と活用技術、社会におけるデータサイエンスとAI
第2回	データ分析の基礎について学習します。データの取得方法と管理方法、ヒストグラム、箱ひげ図、平均値と分散
第3回	データ分析の基礎について学習します。散布図、相関係数、回帰直線、データ分析での注意点
第4回	データサイエンスの手法について学習します。クロス集計、回帰分析、ベイズ推論、アソシエーション分析
第5回	データサイエンスの手法、コンピュータを用いた分析について学習します。クラスタリング、決定木、ニューラルネットワーク、機械学習とAI、Excel を使ったデータ分析
第6回	コンピュータを用いた分析について学習します。RやPython を使ったデータ分析
第7回	データサイエンスの応用事例について学習します。マーケティング、金融、品質管理、画像処理、医学
第8回	総括

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250590001050	科目番号 / Course code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Course title	【Online】●英語コミュニケーション (再履修) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	本館 6 階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 18:00 - 19:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語コミュニケーションでよく使われる表現を通じて、リスニング、ディクテーション、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 英語音声の発音上の特徴を理解し、実際に聞く、書く、声にすることを通じて、それを会得する。		
授業到達目標/Course goals	リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で25点に相当する。 また、毎回、前回のユニットの表現テストを行う。30点である。 音声の提出が35点。授業への参加、貢献度が10点である。 (オンライン授業の場合、授業ノート提出45点、音声提出35点、その他課題等20点) 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：毎回前回のUnitの表現テストがあるので準備してくること(2時間/回) 事後学習：授業での音声を何度も聞いて、音になれるとともに、複数回の音読練習をしてください。 最後に音読を録音したものをLACSで提出してください(2時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教材は配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本科目はオンライン（オンデマンド）で実施する。ただし、初回および必要に応じて、数回、対面で授業を行う。初回時に詳しく説明しますので、初回時は指定された教室に集まってください。
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等に変更になるので留意されたい。 スマホを授業目的以外で使用していた場合、減点となる。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction 授業概要説明
第2回	I hope... 英語の音声：概要
第3回	look like 変化する音
第4回	as ... as つながる音
第5回	kind of 消える音
第6回	How do you like ...?
第7回	never ... until~ b, vの音
第8回	It takes ... to ~ s, shの音
第9回	Shouldn't have + 過去分詞 thの音
第10回	I wonder ... (I was wondering if...)
第11回	Why don't you...? (Why don't we...? Let's... Shall we...?)
第12回	as soon as ...
第13回	give a person a call (give a person a... の表現)
第14回	It said/says that ...
第15回	Catch-up & Review

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250590003050	科目番号 / Course code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (再履修) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel	連絡はメール、またはLacsのメッセージをお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了時、またはメール、Lacsのメッセージで対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEIC形式の問題を使って、英語によるコミュニケーションの基礎となる英単語や英文法の知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	現実社会で必要となる英語によるコミュニケーション能力を身につけるために、文法事項を修得し、問題演習の中で使用されている表現を使うことができるようになる。音声による情報をより正確に把握できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験50% 授業への積極的な参加状況(小テスト、課題等を含む)50% 以上により、総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	[予習] 授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h/回) [復習] 授業内容を復習して理解を深め、課題に取り組む。(2h/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	角山照彦、他(著) A Communicative Approach to the TOEIC L&R Test Book 2: Intermediate (成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業の実施形態、予習箇所、課題についてはLacsでお知らせします。授業前後は、必ずLacsを確認して下さい。授業実施形態は、オンライン4回、対面11回です。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1 Restaurants 語彙問題・接頭辞(対面)
第2回	Unit 2 Offices 動詞(1)・eメール文書(対面)
第3回	Unit 3 Daily Life 品詞・チャット書式(1)(オンライン)
第4回	Unit 4 Personnel 接尾辞(1)・文挿入問題(対面)
第5回	Unit 5 Shopping 接尾辞(2)・動詞(2)(対面)
第6回	Unit 6 Finances 語彙問題・手紙の書式(オンライン)
第7回	Unit 7 Transportation 代名詞(1)・告知書式(対面)
第8回	中間テスト(対面)
第9回	Unit 8 Technology 前置詞・記入用紙書式(対面)
第10回	Unit 9 Health 接続詞・群前置詞(オンライン)
第11回	Unit 10 Travel ダブルパッセージ問題(対面)
第12回	Unit 11 Business 句動詞・チャット書式(2)(オンライン)
第13回	Unit 12 Entertainment 慣用句・つなが言葉(1)(対面)
第14回	Unit 13 Education 代名詞(2)・つなが言葉(2)(対面)
第15回	Unit 14 Housing トリプルパッセージ問題(対面)
第16回	授業の総括(定期試験)(対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250590005050	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (再履修) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業直後またはEメール、Lacsのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	動画を視聴し、4技能のレベルアップのための演習に取り組む。特に、リスニングとスピーキング能力の向上のためのタスクを行う。		
授業到達目標/Course goals	日常生活で使用される語彙を多く身につけると共に基本的な英語の構造が理解できるようになる。視覚情報を助けにしながら会話の内容を把握し、そこで使用されている表現を応用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験 50% 授業への積極的参加状況(小テスト、課題なども含む) 50% 以上により、総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[予習] 授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h/回) [復習] 教科書と配布資料で授業内容を復習し、課題に取り組む。(2h/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Live Escalate Book 3: Summit (成美堂)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	授業の実施形態、予習箇所、課題についてはLacsでお知らせします。授業前後は、必ずLacsを確認して下さい。授業実施形態は、オンライン7回、対面8回です。		

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 01 Electronic Devices • Learning the name of computer-related terms and discussing a recent Internet trend: the selfie (対面)
第2回	Unit 02 Health and Fitness • Providing ways to keep healthy and stay fit (オンライン)
第3回	Unit 03 On the Phone • Introducing telephone etiquette • Practicing phone English (対面)
第4回	Unit 04 Household Chores • Discussing gender and household chores (対面)
第5回	Unit 05 Environmental Protection • Talking about the environment (オンライン)
第6回	Unit 06 Bargaining for Fun • Introducing useful tips for bargaining • Providing practical sentence patterns for bargaining (対面)
第7回	Review 1 (オンライン)
第8回	第1回～第6回までの復習 (対面)
第9回	Unit 07 Affinity • Introducing how different animal fathers take care of their young • Discussing parents' attitudes toward their children (オンライン)
第10回	Unit 08 Culture Shock • Talking about tipping culture • Introducing some travel etiquette (対面)
第11回	Unit 09 School Activities • Introducing school clubs • Talking about the benefits of being a student (オンライン)
第12回	Unit 10 Asking for Directions • Practicing directions • Providing practical sentence patterns for asking directions (対面)
第13回	Unit 11 Tourist Spots • Making travel plans • Introducing famous mountains around the world (オンライン)
第14回	Unit 12 Studying Abroad • Introducing homestay etiquette • Talking about the benefits of a homestay (オンライン)
第15回	Review 2 (対面)
第16回	授業全体のまとめ(試験を含む) (対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250590011050	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	【Online】●総合英語 (再履修) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	本館 6 階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木 17:00 - 18:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語科目の目標は、一般的な社会生活をおくる上で必要な英語コミュニケーション能力の基盤となるリスニング力とリーディング力を培うための学修を行う。そのために、英語力の4技能を総合的に向上させることを目指すが、特にディクテーションを通した、リスニングと発音の練習を中心とし、基礎的な表現力を修得する。ディクテーションや発音練習の中でさまざまな表現も合わせて学び、表現力の向上を図る。		
授業到達目標/Course goals	英語音声の基本的特徴を体系的に理解できるようになるとともに、それらを聞き取れ、発音できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回、授業後には、ふりかえりを行う。これらは全体で25点に相当する。 また、毎回、前回のUnitの表現テスト行う。35点である。 音読課題を毎回課す。30点 参加・貢献が10点 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。 オンライン授業(オンデマンド授業)とする場合、評価方法は異なる(初回に説明します)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習としては、前回のunitの表現テストがあるので、その準備をしてくること(2時間/回)。 事後学習としては、学習したUnitの音声を繰り返し聞き、音になれるとともに複数回音読の練習をしてください。最後に、録音し、ファイルにてLACSから提出してください(2時間/回)。		
キーワード/Keywords	リスニング ディクテーション 音読 破裂音 摩擦音 連結 脱落 弱勢 機能語と内容語 基本英文法		
教科書・教材・参考書/Materials	配布します		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本科目はオンライン（オンデマンド）で実施する。ただし、初回および必要に応じて、数回、対面で授業を行う。初回時に詳しく説明しますので、初回時は指定された教室に集まってください。
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 内容は理解度に応じて、変更する場合がある。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(対面) Introduction 授業概要説明
第2回	連結1 t連結 Let it be (let it)
第3回	連結2 子音 + 母音 Top of the world (such a feelin')
第4回	脱落1 破裂音 (p, b t, d k, g) + 同じ破裂音 / 似た破裂音 Honesty (hard to find)
第5回	脱落2 語尾の破裂音 (p, b t, d k, g) Rainbow (and)
第6回	音の変化1 [d]+[j] My heart will go on (loved you)
第7回	脱落3 -ing A whole new world (shining)
第8回	ここまでのまとめ Love so sweet
第9回	脱落4 語尾の[l] Let it snow (frightful)
第10回	音の変化2 [v]+[j] Last Christmas (gave you)
第11回	脱落5 [t/d] + 摩擦音[th] Let it go (let them)
第12回	音の変化3 [t]+[l] You don't listen to rock and rolls
第13回	3語の連結 Beauty and the beast (as old as)
第14回	脱落6 [nt] + [o] Count on me (count on)
第15回	Catch-up & Review

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250590013050	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	●総合英語 (再履修) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	knaomi.bluerose▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) 英語のポップスの楽曲を用いた教材を使用し、英語の歌詞を聞き、読みながら英語を学習する。 (2) リスニング及びリーディングの練習を行い、さらに文法事項を学習する。		
授業到達目標/Course goals	楽曲を聞いて歌詞を聞き取れるようになる。語彙、文法事項を学び楽曲の内容を理解できるようになる。曲に関する英文を読んで理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト・授業への取り組み70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業前の教材の予習(1時間/回)、次回小テストのための復習(30分/回)		
キーワード/Keywords	英語の曲を理解し鑑賞する。		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	毎回、必ず予習、復習の上で授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	原則として「対面授業」。但し、状況次第でオンライン授業に変更の可能性あり。授業の進捗状況により、内容の変更の可能性あり。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/9)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 (対面)
第2回 (4/16)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第3回 (4/23)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第4回 (5/7)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第5回 (5/14)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第6回 (5/21)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第7回 (5/28)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第8回 (6/4)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第9回 (6/11)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第10回 (6/18)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第11回 (6/25)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第12回 (7/2)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第13回 (7/9)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第14回 (7/16)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第15回 (7/23)	英語ポップスの曲を使った、リスニング、リーディング及び文法問題 (対面)
第16回 (8/6)	期末試験 (対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250591000150	科目番号 / Course code	05910001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】●プラネタリーヘルス入門((再履修(夜間主)) / Introduction to Planetary Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 持田 恵一 / mochida keiichi, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 工藤 健 / Kudo Takeshi, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 鈴木 誠二 / Suzuki Seiji, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 加藤 健太郎 / Kato Kentaro, 佐藤 美穂 / Sato Miho, 前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 井 隆司 / I Takashi, 石橋 知也 / Tomoya Ishibashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 持田 恵一 / mochida keiichi, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 工藤 健 / Kudo Takeshi, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 鈴木 誠二 / Suzuki Seiji, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 加藤 健太郎 / Kato Kentaro, 佐藤 美穂 / Sato Miho, 前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 井 隆司 / I Takashi, 石橋 知也 / Tomoya Ishibashi		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス入門科目, プラネタリーヘルス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	planetary_health▲ml.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員TEL/Tel	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	オムニバス形式、オンデマンド型の講義であるため、上記Eメールアドレスに連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本学は、総合大学として各分野の高い専門性を生かし「プラネタリーヘルス」に貢献することをスローガンに掲げている。異なる分野で活躍する複数の講師が、それぞれの視点で地球規模の課題への取り組み、その重要性について講義し、環境変化と地球の健康との間にある重要なつながりを理解させ、プラネタリーヘルスに向き合う姿勢「プラネタリーヘルスマインド」を涵養する。		
授業到達目標/Course goals	・自ら学び、考え、主張し、行動することができる ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている ・専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている ・地球環境と社会の多様性を理解している ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	第2回目から8回目まで毎回課される課題の総合点で判断します。 (10点×10課題=100点満点のうち60点以上が合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】講義のキーワード及びテキストの該当箇所を提示するので、キーワードに関する内容を各自、テキスト、Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPやテキストで理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	「各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)」欄を参照すること。		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書：プラネタリーヘルス ～私たちと地球の未来のために～（丸善出版）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	この授業は、オンデマンド型のオンライン授業です。 ただし、初回の授業は対面で行います。学部等によって日時・場所が異なるので第1回の授業内容を確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	「プラネタリーヘルス」というキーワードをもとにみなさんが持つ知を集積、統合して、新しい世界を次々と生み出す契機となることを願っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	深見聡/NPO法人での実務経験 泉川公一/長崎大学病院における診療業務 村田比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務 佐藤美穂/NPO法人での実務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（初回のみ対面授業）	初回のみ対面で授業を実施します。 【第1グループ】 日時：4月8日（火）18:00～ 場所及び対象学部等： （中部講堂）経済学部，環境科学部，水産学部 （教養教育講義棟：A-21講義室）多文化社会学部，教育学部 【第2グループ】 日時：4月11日（金）18:00～ 場所及び対象学部等： （中部講堂）医学部，歯学部，薬学部，工学部：機械工学コース，電気電子工学コース，構造工学コース （教養教育講義棟：A-21講義室）情報データ科学部，工学部：社会環境デザイン工学コース，化学・物質工学コース タイトル：プラネタリーヘルス（地球の健康）と長崎大学 講師：永安 武 学長 / Takeshi Nagayasu (President) 講義キーワード：長崎大学ホームページ https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/guide/planetaryhealth/index.html https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/pickup/ph_9.html
第2回	【環境科学部 / Faculty of Environmental Science】 タイトル：プラネタリーヘルスと環境科学 / Planetary Health and Environmental Science 講師：深見 聡 准教授 / Satoshi Fukami、中山 智喜 准教授 / Tomoki Nakayama 講演のキーワード：気候変動、大気汚染、持続可能な開発（SD）、SDGs、持続可能な観光 テキストの該当箇所：（中山）4、7、12章 （深見）16章
第3回	【水産学部 / Faculty of Fisheries】 タイトル：変わりゆく海の健康と食料 / Changing marine environment and foods 講師：阪倉 良孝 教授 / Yoshitaka Sakakura 講演のキーワード：気候変動、水質汚染、生物学的変化、食料生産 テキストの該当箇所：4、5章 【情報データ科学部 / School of Information and Data Sciences】 タイトル：プラネタリーバウンダリーと食 / Sustainably Feeding the Future Within Planetary Boundaries 講師：持田 恵一 教授 / Keiichi Mochida 講演のキーワード：生物多様性、フードテック、分子育種、バイオエコノミー、精密農業 テキストの該当箇所：5章

第4回	【医学部 / School of Medicine】 タイトル：感染症の脅威～人類と微生物の闘い～ / The Threat of Infectious Diseases, The Struggle Between Humans and Microbes 講師：泉川 公一 教授 / Koichi Izumikawa 講演のキーワード：微生物、新型コロナウイルス感染症、予防と治療 テキストの該当箇所：6章
第5回	【教育学部 / Faculty of Education】 タイトル：私たちを取り巻く環境と心の健康 / The impacts of ambient environmental conditions on our mental health 講師：前原 由喜夫 准教授 / Yukio Maehara 講演のキーワード：レジリエンス、都市化、自然、適応、メンタルヘルス テキストの該当箇所：9章 【歯学部 / School of Dentistry】 タイトル：気候変動と健康、口腔の健康 / Climate Change and Human Health, Oral Health 講師：村田 比呂司 教授 / Hiroshi Murata 講演のキーワード：気候変動、健康、気温変化、大気汚染、歯学 テキストの該当箇所：10章
第6回	【多文化社会学部 / School of Global Humanities and Social Sciences】 タイトル：より健康な地球における幸福 / Happiness on a Healthier Planet 講師：佐藤 美穂 准教授 / Miho Sato 講演のキーワード：幸福、ウェルビーイング、向社会的行動 テキストの該当箇所：11章
第7回	【工学部 / School of Engineering】 タイトル：都市空間と自然環境 / Natural environment at urban city 講師：鈴木 誠二 准教授 / Seizi Suzuki 講演のキーワード：都市空間、水環境、洪水 テキストの該当箇所：13章 タイトル：健康的かつ環境的に持続可能な都市 / Sustainable Cities - Focusing on Health and Environment 講師：石橋 知也 准教授 / Tomoya Ishibashi 講演のキーワード：グリーンアーバニズム、交通システム、地産地消、公平性 テキストの該当箇所：13章
第8回	【薬学部 / School of Pharmaceutical Sciences】 タイトル：環境汚染物質から見たプラネタリーヘルス / Planetary health considered from the perspective of environmental pollutants 講師：鳥羽 陽 教授 / Akira Toriba 講演のキーワード：化学物質汚染、健康影響、生態影響、化学物質曝露、毒性、グリーンケミストリー テキストの該当箇所：14章 【経済学部 / Faculty of Economics】 タイトル：プラネタリーヘルスの成果計測のための代替的な指標 / Alternative Measures of Success for Planetary Health 講師：工藤 健 准教授 / Takeshi Kudo 講演のキーワード：国内総生産 (GDP)、人間開発指数 (Human Development Index)、厚生経済学、ウェルビーイング テキストの該当箇所：15章

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20250593003950	科目番号 / Course code	05930039
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●安全で安心できる社会の追求 (安心安全の追求と経済学) / Economic Perspective of Safety and Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko		
科目分類 / Course Category	教養モジュール, 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgaku@の後に教員共通のアドレスをつけてください。		
担当教員研究室/Office	経済学部本館大角研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	安全と安心について、特にゲーム理論の経済学の側面から学習する。		
授業到達目標/Course goals	基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識を駆使した思考方法・技術を身につけることができるようになる。自分の考えについて、分かりやすく伝え、討論することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	グループ討議への参加姿勢(20%), 定期試験(80%)で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	講義後にグループ討議の結果をまとめたり復習すること(時間の目安は概ね2時間程度)。		
キーワード / Keywords	ゲーム理論		
教科書・教材・参考書 / Materials	特段指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	長大Wifiに接続できるPC必携。 高校までの数学とミクロ経済学の基礎知識があることが望ましい。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 / Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更がある場合は、LACSでお知らせします。		

学生へのメッセージ/Message for students	社会現象の背後にある人々の行動選択を考察するための経済的な手法について学習していきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (対面) (復習: 高校までの数学のテキストを読む。時間は概ね2h程度, 予習: ミクロ経済学のテキストを読む。時間は概ね2h程度)
第2回	ゲーム理論の行い方 (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。概ね2h 程度)
第3回	合理性に基づく予測 (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第4回	競争と協力(1) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第5回	混合戦略と純粋戦略 (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第6回	競争と協力(2) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第7回	一般の囚人ジレンマゲーム (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第8回	協力ゲームアプローチ (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h 程度)
第9回	環境問題 (1) (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第10回	環境問題 (2) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第11回	時間を通じて行われるゲーム (1) (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)
第12回	時間を通じて行われるゲーム (2) (対面) (復習: グループ討議の結果をまとめる。 概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h 程度)
第13回	時間を通じて行われるゲーム (3) (対面) (復習: 講義ノートを理解する。 概ね2h 程度, 予習: 関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h程度)

第14回	ホールドアップ問題 （対面） (復習：グループ討議の結果をまとめる。概ね2h 程度，予習：関連事項についての文献調査を行う。 概ね2h 程度)
第15回	講義のまとめ （対面） (復習：講義ノートを理解する。概ね2h 程度)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20250598000950	科目番号 / Course code	05980009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●現代の経営 / The Practice of Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 麗桂 / LIN Ligu		
科目分類 / Course Category	選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lilty1210▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	本館531		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールを通じてアポを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義は、経営書の古典を読みながら、マネジメント理論の背景および基本的理論枠組みについて学ぶことを目的にする。また場合によって、グループディスカッションを通じて、相互に思考を促す取り組みを行うことがある。		
授業到達目標/Course goals	DP7-3 企業の構造や行動，経営管理の諸側面，経営の歴史に関する知識を修得している。 複雑で急速な経済社会の変化に対して，自主的・積極的に対応し，新たな価値を創造する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み：50% 最終レポート：50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：教材で指定された内容をあらかじめ予習する(2h)。 復習：講義で学んだ理論や事例について自ら整理したりまとめることによって理解を固める(2h)。 。		
キーワード/Keywords	マネジメント、事業、事業目標、組織構造、組織文化		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：P.F. ドラッカー(著) 上田惇生(訳)(2006)『現代の経営』「上」ダイヤモンド社		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面で実施する
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：講義内容、実施方法および成績評価方法の説明
第2回	著者の紹介、マネジメントの概念と役割
第3回	マネジメントの領域
第4回	事業とは
第5回	事業における重要なこと
第6回	事業の目標設定と管理 1 / 2
第7回	事業の目標設定と管理 2 / 2
第8回	生産の原理
第9回	自己管理における目標管理
第10回	経営管理者は何をすべきか
第11回	組織の文化
第12回	CEOと取締役会
第13回	経営管理者の育成
第14回	マネジメントの組織構造
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20250598001350	科目番号 / Course code	05980013
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●生活・経済活動と法 / Legal System on Life and Economic Affairs		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	Night Course		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	syu-hourei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	Southeast Asia Research Building 312		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	If you have any questions, please make an appointment in advance by email.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Learning about how the law is involved in everything from familiar problems that arise in daily life and work to social problems.		
授業到達目標/Course goals	1.Problem discovery ability: Cultivating the willingness and ability to identify, explore, and solve problems encountered in daily life. 2 .Cross-disciplinary basic knowledge: Understanding the connections between daily life, economics, and law, while acquiring a broad range of knowledge. 3.Ability to create and communicate value: Utilize acquired knowledge to generate new value and develop the ability to convey it effectively.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Grades will be based on the results of reports normally submitted (90%). Students who actively participate in discussions during lectures will be given points (10%) according to their declaration. If the number of students taking the course is 50 or more, evaluation will be based on regular examinations (70%) and results such as regular reports (30%).		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Preparation: Read lecture materials(2 H). Post-review: Remembering and reviewing the key points of the lecture (2 H).		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	有斐閣 “Pocket Six Laws” Latest Edition		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	Lecture materials will be posted on LACS from the second time onwards. please print it out in advance and bring it with you. Lecture materials will be distributed only if not		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974
備考/Remarks	Lecture implementation method: Face-to-face
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	I would like to utilize my experience as a lawyer in international business to broaden the perspective of students and develop them into people who can not only comply with laws and regulations, but also participate in the creation of rules for international commercial transactions (Those who control the rules control the market).
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Introduction
2nd	Torts and Law
3rd	Consumer damage and manufacturer liability and Law
4th	Traffic Accidents and Law
5th	Money lending and law
6th	Online trade and law
7th	Short-term employment and law
8th	Welfare benefits and law
9th	Aging society and law
10th	Elimination of social disparities and laws
11th	Crypto assets and law
12th	AI and law
13th	Family relations and law
14th	Inheritance and law
15th	Summary of class content

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6, 木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20250598001350	科目番号 / Course code	05980013
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●生活・経済活動と法 / Legal System on Life and Economic Affairs		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	朱 宝玲 / ZHU BAOLING		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 1 0 1 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	夜間生コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	syu-horei ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	片淵・東南アジア棟 3 1 2		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	ご質問等がある場合、メールにて事前にアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日常生活や仕事で生じうる身近な問題から社会問題まで、法はどのように関わっているかについて学習すること		
授業到達目標/Course goals	1. 課題発見力・探求力: 日々の生活に内在する諸課題を発見,これを探求し,解決しようとする意欲と能力を身につけること。 2. 横断的基礎知識: 日常生活と経済と法の関係性を理解し、幅広い知識を身につけること。 3. 価値創造及び発信力: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに,これを発信する能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	普段提出されたレポートの成果で、評定する(9 0 %)。 講義中、積極的にディスカッションに参加する学生について、申告に応じて積極的に加点する(1 0 %)。 履修者数が 5 0 名以上になる場合、定期試験(7 0 %)と普段のレポートなどの成果(3 0 %)で、評定する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前予習: 講義資料を読むこと。2 時間 事後復習: 講義のポイントを思い出し復習すること。2 時間		
キーワード/Keywords	民法、刑法、行政法、国際取引法、国際私法、法的三段論法		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 有斐閣『ポケット六法』最新版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	講義資料は、二回目からLACSに掲示します。LACSで掲示する場合、別途配布しませんので、各自で事前にプリントして持参してください。LACSに掲示しない場合のみ配布します。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考/Remarks	講義形式：対面
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	国際取引等における弁護士実務経験を活かし、学生の視野を広げ、法令順守のみではなく、国際商取引ルール作りに参加できるような人材育成を目指したい（ルールを制する者は市場を制する時代なので）。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	不法行為と法
第3回	消費者保護と製造者責任と法
第4回	交通事故と法
第5回	金銭貸借と法
第6回	ネット売買と法
第7回	短期雇用と法
第8回	生活保護と法
第9回	高齢社会と法
第10回	社会格差解消と法
第11回	暗号資産と法
第12回	AIと法
第13回	家族関係と法
第14回	相続と法
第15回	講義の総括